

各感染症対策主管課長
各 医 師 会 長 殿
定点観測医療機関長

福岡県医師会
会長 蓮澤 浩明
(公印省略)

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報

週報 令和8年第一第6週 (R8.2.2~R8.2.8)

定点	病名	定点報告数 (○:警報レベル □:注意報レベル)						1定点当たり	
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	福岡県	全国
		12/29~	1/5~	1/12~	1/19~	1/26~	2/2~	6週	
ARI	急性呼吸器感染症	6304	6535	6385	7556	9997	11812	96.82	102.39
	インフルエンザ	○2475	○2057	○2251	○2291	○3726	○5713	○46.83	43.34
	新型コロナ感染症	85	62	63	77	69	69	0.57	2.71
小児科	RSウイルス感染症	15	31	37	74	64	54	0.77	0.75
	咽頭炎	7	51	39	52	48	52	0.74	0.31
	A群溶連菌咽頭炎	129	266	285	414	408	419	5.99	2.91
	感染性胃腸炎	302	510	528	692	784	784	11.20	9.48
	水痘	41	58	37	29	32	22	0.31	0.33
	手足口病	15	3	4	9	9	13	0.19	0.06
	伝染性紅斑	5	18	13	8	11	10	0.14	0.19
	突発性発しん	11	24	23	26	25	12	0.17	0.21
	ヘルペンギーナ	5	2	3	7	3	1	0.01	0.01
	流行性耳下腺炎	0	5	1	1	1	1	0.01	0.03
	川崎病 (MCLS)	3	2	0	5	5	6	0.03	
	マイコプラズマ肺炎	11	24	17	19	12	8	0.07	
	細菌性結膜炎	0	0	0	3	0	0	0.00	
	無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0.00	
眼科	急性出血性結膜炎	0	1	1	3	0	2	0.08	0.01
	流行性角膜炎	5	37	19	15	9	19	0.73	0.44

月報 令和8年1月 (R8.1.1~R8.1.31) (STD 定点数37)

病名	定点報告数	前月比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
性器クラミジア感染症	95	103%	福岡49、筑後20	2.64	2.35
性器ヘルペス	44	92%	福岡18、北九州10	1.22	0.92
尖圭コンジローマ	20	133%	福岡12、筑後5	0.56	0.47
淋菌感染症	37	128%	福岡20、筑後7	1.03	0.74

■ 総評

▽ 2026年第6週: R8.2/2-2/8はインフルエンザが連続増加し福岡県は定点当たり46.83(全国は43.34)と30.0以上、キットではA型240人、B型3330人とB型が多い。新型コロナは今週も横並いで定点当たり0.57と少ない。RSウイルス感染症は今週横並いで多くはない。感染性胃腸炎は増加傾向でノロウイルスの発生が多い。検査定点医療機関では感染性胃腸炎・インフルエンザの検体提出をお願いします。

■ ARI (R7.15週より内科定点数78→52 ※ARI定点は内科定点と小児科定点によって構成)

- ※ 急性呼吸器感染症: 5週前から6304、6535、6385、7556、9996、11812と推移、今週は増加
- ※ インフルエンザ: 今週も増加、定点当たり46.83(前週30.54; 20歳以上12.4%)と警報レベルで再び30.0以上、キットではA型240人、B型3330人とB型が多い、全国定点当たり43.34(前週30.03)と30.0以上。
- ※ 新型コロナ感染症: 今週も横並いで少ない(20歳以上56.5%)、定点当たり0.57(前週0.57)、全国定点当たり2.71(前週2.49)。

■ 小児科 (R7.15週より小児科定点数120→70)

- ※ RSウイルス感染症: 4歳以上2人。今週は横並いで多くはない。
- ※ A群溶連菌咽頭炎: 増加傾向だが今週は横並い。発疹合併: 3歳男2人、4歳男2人、5歳女、6歳男(猩紅熱)、7歳男。
- ※ 感染性胃腸炎: 増加傾向(3歳以下44.6%)。ノロウイルスの報告が多い。
 - ・カンピロバクター: 6歳男、8歳男、女、11歳女、13歳女。
 - ・腸管出血性大腸菌: 8歳女にO157, VT1-2+(焼肉・ハシビーグ)。
 - ・ロタウイルス: 13歳男、女。
 - ・アデノウイルス: 報告なし。
 - ・ノロウイルス: 2か月女、7か月女、8か月女、6-11か月男2人、女、1歳男5人、女3人、2歳女4人、3歳女2人、4歳男、女2人、6歳女。
- ※ 水痘: 15歳以上0人。ワクチン済例: 4歳男(R4.3/23にVZ317、R4.8/29にVZ329; 軽症)、4歳女(R5.7/13にVZ343; 軽症)、4歳女(R4.12/9にVZ334; 軽症)、5歳女(R3.12/16にVZ311、R4.6/22にVZ321; 中等症)、7歳男(R1.12/30にVZ268、R2.7/6にVZ283; 中等症)、7歳女(R2.2/25にVZ273、R2.9/1にVZ287; 軽症)、8歳男(H28.11/1にVZ232、R1.11/1にVZ266; 軽症)、8歳男(H30.4/16にVZ219、H30.9/7にVZ227; 中等症)、9歳男(H30.3/3にVZ217、H30.7/14にVZ223; 軽症)、10歳男(H29.12/19にVZ128; 軽症)、12歳男(H27.3/6にVZ134、H28.4/13にVZ171; 軽症)。
- ※ 流行性耳下腺炎: 15歳以上0人。ワクチン済例: 3歳女(R5.9/4にG944; 軽症)。
- ※ マイコプラズマ肺炎: 15歳以上0人。抗原検査: 5歳男。抗体検査: 6歳女(PA: 1280)、10歳女2人(160)。
- ※ その他の疾患: ヒトメタニューモ: 前週16人、今週22人と増加。パラインフルエンザ感染症: 7歳女。帯状疱疹: 41歳女。ヘルペス歯肉口内炎: 2歳男、5歳男。

■ 眼科 (眼科定点数26)

- ※ 流行性角結膜炎: キット陽性: 10歳女。

■ 基幹 (基幹定点数15)

- ※ マイコプラズマ肺炎: 9歳女、12歳男、25歳女。
- ※ 細菌性結膜炎: 77歳男(*Pseudomonas aeruginosa*)。
- ※ ロタウイルス胃腸炎: 13歳男。

■ ウィルス分離

- ※ 急性呼吸器感染症(ARI): 1/15の1歳男、1/20の62歳女、1/23の2歳男からライノ/エンテロウイルス、1/20の16歳男、37歳女、1/27の25歳女からインフルエンザA型、1/16の10歳男、1/27の16歳男、21歳男、22歳男からインフルエンザB型。咽頭部熱: 12/22の3歳女、12/23の7か月男からアデノアデノ2型[福岡市保健環境研究所]。

■ 全数報告

- ※ 腸管出血性大腸菌: 全国今週18人、全国累計194人、福岡県今週1人、福岡県累計5人。
- ※ エムポックス: 全国第6週4人、全国累計12人(R7年23人)。
- ※ 重症熱性血小板減少症候群: 全国第6週1人、全国累計3人、福岡県第6週に0人、福岡県累計0人。
- ※ デンク熱: 全国第6週1人、全国累計13人、福岡県第6週に0人、福岡県累計0人。
- ※ 副症型溶連菌感染症: 全国累計182人、福岡県累計12人。
- ※ 梅毒: 全国累計1065人、福岡県累計70人。
- ※ 百日咳: 全国累計1267人、福岡県累計59人。
- ※ 風しん: 全国第6週に0人、全国累計1人(東京1; R7年11人)。
- ※ 麻しん: 全国第6週に9人(岩手2、栃木1、埼玉2、千葉1、東京2、愛知1)、全国累計32人(北海道~大阪; R7年265人)。

※ 福岡県医師会ホームページの感染症動向欄にも掲載されていますので下記URL及びQRコードよりご参照下さい。

URL: <https://www.fukuoka.med.or.jp/doctors/kansenshou/11717.html>

ホーム>医師の皆様>感染症・予防接種>感染症発生動向調査

青木知信



全数把握対象疾患発生状況

令和8年－第6週(R8.2.2～R8.2.8)

感染症類型	疾病名	日付	福岡累計					福岡					全国
			2020	2021	2022	2023	2024	3週	4週	5週	6週	25年累計	
二類	結核		759	757	733	718	883	14	23	15	21	87	252
三類	細菌性赤痢		1			1	2						
	腸管出血性大腸菌感染症		181	182	254	215	172		1	1	1	5	18
	腸チフス					2	3						
	パラチフス												1
四類	E型肝炎		4	6	1	9	8						20
	A型肝炎		5	2	5	3	11						
	エムポックス					1	1						4
	ジカウイルス感染症					1							
	重症熱性血小板減少症候群		2	1	5	2	4						1
	チクングニア熱				1	1	1						
	つつが虫病		4	3	7	6	1						2
	デング熱		1		10	14	10						1
	日本紅斑熱			7	6	11	8						1
	ボツリヌス症		1										
	マラリア		2		1	2	1						
	ライム病				1	1							
	レジオネラ症		56	60	71	89	77	1	1	1	1	6	27
	レプトスピラ症				1	3		3					1
五類	アメーバ赤痢		14	17	26	22	25			1		1	9
	ウイルス性肝炎		13	8	6	9	6						3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		116	128	110	112	147	1	3	2	1	13	14
	急性弛緩性麻痺		2		3	5	1						
	急性脳炎		24	22	22	35	29				1	3	11
	クリプトスボリジウム症		1			2	1						
	クロイツフェルト・ヤコブ病		3	7	9	6	6						1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		26	23	32	48	67	1	4	2	1	12	25
	後天性免疫不全症候群		41	54	63	59	56			1	3	4	18
	ジアルジア症		1	2	2	1	3						2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		14	14	13	19	28	2	1	1		4	6
	侵襲性髄膜炎菌感染症				1		3						2
	侵襲性肺炎球菌感染症		79	81	64	89	116	3	1	3	3	17	39
	水痘(入院例に限る)		17	16	5	12	27			3		5	8
	梅毒		314	348	566	942	880	7	16	12	6	70	134
	播種性クリプトコックス症		6	5	3	10	7			1		1	4
	破傷風		3	2	3	6	1						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		9	3	5	4							
	百日咳		105	29	25	24	216	7	14	5	6	59	162
	風しん		5		1	1							
	麻しん		1	1			1						9
	薬剤耐性アシнетバクター感染症		1	1	1								1
計			1811	1780	2058	2482	2805	36	64	48	44	287	776

全数把握対象疾患発生状況（保健所別）
令和8年－第6週(R8.2.2～R8.2.8)

感染症 類型	保健所 疾病名	保健所												計
		北九州市	福岡市	久留米市	宗像・遠賀	柏原	筑紫	糸島	田川	北筑後	南筑後	京葉	嘉穂・鞍手	
二類	結核	3	9	1		3				2	1		2	21
三類	細菌性赤痢													
	腸管出血性大腸菌感染症			1										1
	腸チフス													
	パラチフス													
四類	E型肝炎													
	A型肝炎													
	エムボックス													
	ジカウイルス感染症													
	重症熱性血小板減少症候群													
	チクングニア熱													
	つつが虫病													
	デング熱													
	日本紅斑熱													
	ボツリヌス症													
	マラリア													
	ライム病													
	レジオネラ症											1		1
	レブトスピラ症													
五類	アメーバ赤痢													
	ウイルス性肝炎													
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症											1	1	
	急性弛緩性麻痺													
	急性脳炎	1												1
	クリプトスピリジウム症													
	クロイツフェルト・ヤコブ病													
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1												1
	後天性免疫不全症候群		1	1			1							3
	ジアルジア症													
	侵襲性インフルエンザ菌感染症													
	侵襲性髄膜炎菌感染症													
	侵襲性肺炎球菌感染症		1			1	1							3
	水痘（入院例に限る）													
	梅毒	1	5											6
	播種性クリプトコックス症													
	破傷風													
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症													
	百日咳	3	1			1	1							6
	風しん													
	麻しん													
	薬剤耐性アシнетバクター感染症													
計		9	18	2		5	3			2	2		3	44